

なかだし
膣内射精っww

バッコバコっw

先輩、あの女ちよろいっすw

いい声で鳴くでしょwこいつw

好きな先輩が
ヤリチン後輩に
一晩で墮とされた(T_T)

今日一日ノーパンなww

朝まで犯りまくりw

ズッコズコっw



でも…この後輩が
言いつもり

彼女はとても魅力的だ…

高梨みどり先輩

27歳独身

いつもスン、としていて
あまり感情を表に出すことがない
一見冷たく見えるけど実はすごく優しい

仕事ができる
部内での信頼も厚くて

僕も入社したての頃は
いろいろお世話になった、今でもだけど

だから…

「高梨先輩」

「ん？
なに？藤堂くん」

「例の件、先方とうまく
折り合いがつかなくて、
相談に乗ってもらえませんか？」

「ああ、〇〇社の」

そんな先輩を

好きになつていた
ま、僕なんかじゃ
釣り合わないと思うけど…

「飯、奢りますか？」

「…さあ？」

「…さあ？」



「ごごめん
なんか急に酔いが…」

「飲みすぎすかね
どうかで休んでいきましょ？」

今日はあの後輩の
相談に乗ってやるらしい
先輩も忙しいだるうに

「んっ
あっ、うん…」

「薬効いたっつW!
いただきっつWー!」

おニヤニヤ♡♡

むにむに♡♡

くはま♡♡

（うしろざつぱ身しらわW）

本当に優しい
女性だ



「ふう…」

「あ…」

「おっと、大丈夫すか
先輩」

「あ…
うん…」

サ、わ…

サ、わ…

ああ……高梨先輩……

「あつ、ちよ、だめつ、藤堂くんっ
ああっ！」
あつ、ちよ、だめつ、藤堂くんっ

「ほお、MMがっ、
MMだわんっ」
あつ、ちよ、だめつ、藤堂くんっ

グチュッ

「そ、そこっだめっ！
んっ刺激しないでえっ！」

「こんなごっつ
だめっ、よ
ああっ！」
あつ、ちよ、だめつ、藤堂くんっ

グチュッ

グチュッ

「感じやすい
っすね、先輩」

「あっ！！
いっ、いっ、ああっ！」
あつ、ちよ、だめつ、藤堂くんっ

「今日はたまっぶり
ナニっしまっよっ」
あつ、ちよ、だめつ、藤堂くんっ

エグッ

今頃何を
してるんだろっ……

「どうこうとで、先輩のスマホに送った動画見てくださいよw」

こんだけ股びちよびちよに濡らして何言ってるんすかw

クールなみどりもお股はホットってかw

藤堂くうんだ、だめえ…

ほら、ぶち込みますよw おれの極太ペニスww

「!!!」

あ…やつ…大つき、あ…

「え、これ…!!!」





酔わせてホテル
連れ込んで

動けないとこ
服を脱がせて

おほっ

んんん

んんん

犯っちゃいましたw

「あっあっ、うそっ
は、入って…っ」

は

は

は

んんん



ね、言ったとおりでしょw

やつぱちよるらつよ
あの女w

おほっ

んんん

「だめっ、だめえっ
ぬ、抜いてっ！」

んんん

おほっ

「藤堂
くうんっ！」

ふ

ふ

「んっ
んあっ！」

ふ

おすすめま〇〇、
おもしくそ
突きまくしてやりましたw

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

おしな、おしな、おしな
ぱっぴぱっぴw

おはははは

♡♡♡♡♡

グキョッ

「あっああっ♡
と、藤堂くんっ♡♡」

おははは

「ああっ♡」

♡♡

「あんっ

♡♡

ああんっ♡」

♡♡

♡♡

おははは





感じまくして

ま〇んおのしおるう締め付けてきてw

「あっ♡」

「おほおっ♡♡」

おほおほ

言っていましたよwウケるっw



「あっっ！」

あっっっん♡♡♡
うんんん♡♡♡

サイコーでしたよ
締めまりがよくなってw

「あっっ
あへあっ♡」

あんま使ってなかったんじや
ないかな、あの穴

「ね、ほら
いい声で鳴くでございませぬ?」

パチュン♡

ハッ
ン

ああっ♡
いいっ! ああっ♡

す、すっ♡

パ
チュン♡

ハッ
ン

お、おっ♡
お、おっ♡

「ギリギリまで犯りまくって
ふたりでシャワー浴びて
ホテルから出勤っす」

「てなわけで
ほぼ徹夜なんすよ俺」

「ふわあゝ
ねむ…」

「でも女ってすげーいつすね
今はあんなにすましているのに」

「ついさっきまでは
こんなんでしたからw」

藤堂くうん♡
はやく会社行かないとお

おーい♡
おーい♡

遅れちゃりやあ？

アーさんっ



「せんぱい、ごめん会社つすよ
なんつう格好してんのw」

あれからほぼ毎日
抱いてますよ

経験少なかったみたいで
いるいる仕込んでますw

ドキ

ドキ

「すっからんの気
じゃないですかw」

「あんっ、ち、違うのぉ♡」

大分おれのちんぽに
馴染んできたっていうか
ま、ピッチ育成中ですw

「おおっ♡」

「あゝお下着、
びっしょびっしょじゃんw」

「すました顔して
下のお口はゆるゆるっすねw」

昨日なんか会社で、

「やあっ！
あっ、やだあっ！」

あ、先輩サーセン
先輩のデスクで
犯っちゃいましたw



「うわっうわっ」

おま○こ

汁だくじゃんっW

「この女

」くわっW

くわっW

「あうんっ」

「ほれ

」ほれW

「んっ」



指だけで

イキまくってましたよW

グチュッ

「だめっ!」

「掻きまわしちゃっ…!」

グチュッ

「だめえっ♡♡♡」

先輩のデスク

あの女の愛液まみれW



おっ♡おっ♡おっ♡

「んがっ♡」

「おっ♡おっ♡おっ♡」

おっ♡おっ♡おっ♡

「あっ♡」

「あっ♡」

おっ♡おっ♡

「藤堂くんっ♡」

おっ♡おっ♡

「あっ♡」

「おっ♡おっ♡おっ♡」

「あんっ♡」

「おっ♡おっ♡おっ♡」

「あんっ♡」

おっ♡おっ♡

おっ♡おっ♡



「ああっ♡♡♡」

それとしても

相当マズいですよあの女W

粗末に扱ったほうが
濡れるんです、ぐっちよぐちよW

「いっ♡♡♡
いっ♡♡♡」

「おほっ♡♡♡
おほおおっ♡♡♡」

想像つきます？

めっちや乱れるんすよW

「ハッスルして
ゴム切れちゃってw」

「最後は
腔内射精ですわw」

そろそろ
帰るか

おい、
はよ起きろお

ふううく
射精したあ

あ……♡

あはあ……♡

「環境変わると
めっちゃ興奮するっすね」

「いろんな場所連れ回して
犯りまくるかな

こんな手頃な女
めったにいないしw」

めったにいないしw」

「俺のちんぽ
おまえのH回汁で」

信じられなかった……

「俺のちんぽ
汚れちまっただろ？」

あの高梨先輩が……
僕の好きな高梨先輩が……

「わかってんな？」

質の悪い後輩に、
一晩で墮とされ

毎日のようにおまねされてくる……



「はぶ♡」

「んちゃ♡」



僕の好きだった
クールな瞳は肉欲に蕩け

きゅつと引き締まった
柔らかそうな唇からは
だらしなくよだれが垂れ



「みどり
ちんぽ好きか？」

「すき♡おちんぽも
好き♡」

「せつと一筆で
おちんちんと舌使え」

「はあい♡」

むーん♡



ぷはあ♡

おちんぽお♡

はい、
カメラに向かってえw

ははは
こいつ馬鹿じゃんw!

その姿は……とても滑稽に映っていた



よおし
ちゃんと飲めよw

んぷう♡

ふて♡

しろオレ

よく似た、淫猥な他の女だった

そこに映っていたのは
僕の好きだった高梨先輩、ではなく……

女の二面性は恐ろしく...

「先輩、
ここ予算が」

「おっ、おっ、おっ...」

どんなにすましていても
ひと皮剥けばしよせん雌だ

今日の動画っすw

朝一社内で
元気に一発w

なかだし
膣内射精サイコー♡

はい♡

とろ♡

今日一日
そのままノーパンなw

そっつえば今度同期の男連中集めて
輪姦すつて言ってたな...
僕も...交せてもらおうかな...

